

行政改革推進本部専門委員会 会議録

1. 開催日時 平成 23 年 10 月 28 日（金）午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分
2. 開催場所 豊橋市役所東 41 会議室（東館 4 階）
3. 出席者 委員 3 名（世羅委員、伊藤委員、諏訪委員）
豊橋市 9 名（浅野総務部長、金田財務部長、倉橋企画部長、杉浦行政課長、渡辺財政課長、広田政策企画課長、古池行政課主幹、小田行政課長補佐、田中人事課長補佐）
4. 欠席者 石原委員長
5. 傍聴者 0 名
6. 会議概要 以下のとおり

発言者	要 旨
事務局 (行政課長)	定刻となりましたので、ただ今から、豊橋市行政改革推進本部専門委員会を開催させていただきます。開会にあたりまして総務部長の浅野より一言ご挨拶を申し上げます。
総務部長	本日は急用で石原委員長が欠席ですが、よろしく申し上げます。 事前にお配りした資料の通り、行財政改革プランの評価・検証のあり方について複数の案をお示ししております。 今後を見据えた時、これが豊橋の外部視点による評価だといえるものができればと考えておりますので、よろしくお願い致します。
事務局 (行政課長)	それでは、総務部長からありましたように、本日は石原委員長が欠席ですので、委員長職務代理者であります世羅委員に進行をお願いしたいと思います。 世羅委員よろしくお願いいたします。
世羅委員 (委員長職務代理者)	それでは、ただいまから議事に入ります。次第の 3 にございます、「行財政改革プランの外部視点による評価・検証のあり方について」、事務局より説明を願います。
事務局 (行政課長)	《資料 1 「行財政改革プランの外部視点による評価・検証のあり方について」の説明》
世羅委員 (委員長職務代理者)	それでは、資料 1 の内部評価の「2. 評価・検証の方法」について二つの案が示されておりますが、委員の意見はいかがでしょうか。
伊藤委員	先回の委員会でも発言しましたが、行政評価の書類作成に加えて、行財政改革プランのシートを作成するのは、職員からすると大変で

発言者	要 旨
	<p>あり、また二度手間になると思います。そこで私としては案1を基本とし、行政評価の細事業P D C Aシートを5年の経年管理ができるシートへ修正して活用してみてもどうかと提案します。</p>
<p>政策企画課長</p>	<p>行政評価のこれまでの経緯と現在検討中の事項も含めて、説明させていただきます。今年度から第5次総合計画がスタートしており、それに合わせて、行政評価システムも見直しを進めております。委員のご指摘のとおり、行政評価は作業負担が大きいことから、行政評価のこれまでの理念を引継ぎつつも、シンプルな形にしたいと考えております。具体的には、これまでの4段階での評価から政策と細事業の2段階に変更したいと考えています。お示ししている細事業P D C Aシートのイメージは、シンプルになっておりますが、それでもかなりの情報量が盛り込まれていることから、これ以上の情報を追加するのは困難だと考えております。</p> <p>もう一つ加えますと、行政評価の細事業は1,000を超えるのに対し、行財政改革プランの取組事項は158であり、細事業をベースとして作られていないことから、細事業P D C Aシートを活用した行財政改革プランの進捗管理はなかなか難しいと考えております。</p>
<p>諏訪委員</p>	<p>資料1の「内部評価管理シート別比較対照表」のメリット・デメリットを見る限りでは、案2がよいと思います。</p> <p>伊藤委員のご指摘のとおり、私も職員の負担軽減には賛成なのですが、行政評価の細事業P D C Aシートを活用した場合の職員の混乱を考えますと、行財政改革プランの専用シートを使用したほうが、かえってよいのではないかと思います。といいますのも、行財政改革プランの目的と、行政評価が目指すものが違うからです。</p> <p>あと、行政評価と行財政改革プランとの整合性については、シートが別でも、両者は一体なのだということ、言い換えれば細事業P D C Aシートを踏まえ、専用シートを作成するということを職員にしっかりと理解してもらう必要があると思います。</p>
<p>世羅委員</p>	<p>私としても、行政評価の目的と行財政改革プランの進捗管理とでは目的が異なるということと、1,000を超える細事業と行財政改革プランの158の取組事項を関連付けることも難しいと思いますので、専用シートでの進捗管理がよいと思います。</p>
<p>総務部長</p>	<p>行政評価というのはもともと行革の一つのツールであったわけですが、それが今は分かれてしまっています。そこで私としてはなん</p>

発言者	要 旨
	とか一つにできないかという思いがあり、二つの案をお示しするように事務局に指示しました。貴重なご意見をありがとうございました。
世羅委員 (委員長職務 代理者)	それでは次に、外部視点による評価検証の手法の「2. 評価・検証する対象」について、二つの案が示されておりますので、委員お一人ずつご意見をいただきたいと思えます。
世羅委員	案2で「政策」という語句がありますが、これは総合計画の政策を指すのでしょうか。そうだとすると、総合計画との関連付けが必要となり、公開ヒアリングで取り上げる内容としては、難しい気がします。
事務局 (行政課長)	昨年の公開ヒアリングで取り上げました、政策課題をイメージしております。
伊藤委員	せっかくの機会ですので、市民としても市の懸案事項などを聞きたいという気持ちもあります。
諏訪委員	私も伊藤委員と同じように幅広く聞きたいという気持ちはあるのですが、そのようにした場合、何を基準に評価するのか共通認識の共有が難しくなることから、案1の取組事項を対象とするのがよいと思えます。
世羅委員 (委員長職務 代理者)	ここでどちらかを決める前に、対象と次の議題である選定方法は密接に関連していることから、次の選定方法についても委員の意見を伺いたいと思えます。
伊藤委員	案2の専門委員による書類評価を経て、更なる聴取が必要な取組を専門委員会で決定する方法がよいと思えます。ただし、幅広く市民から意見を聞く場を別で設けるのであれば、諏訪委員が仰ったように、行財政改革プランの取組事項に対象を絞った方が、基準がはっきりして評価しやすいと思えます。
諏訪委員	逆にお伺いしたいのですが、案1と案2のどちらにしたいという市としてのお考えはあるのでしょうか。
総務部長	<p>現段階では統一見解はありません。ただし、市としての基本的な方向性として、事業仕分けにはしたくないという思いがあります。また独善的に市が政策を進めるのではなく、市民の率直な意見に耳を傾ける機会があった方がよいと考えています。</p> <p>もう一つ、市役所の職員は市の仕事をするプロですが、ジョブローテーションがあることから、特定の分野の専門家ではありません。</p>

発言者	要 旨
	<p>そういったことから専門的な知識をお持ちの方の意見を伺いたいという思いもあります。</p>
<p>財務部長</p>	<p>私としては、行財政改革プランの取組事項に対象を絞る方がよいと思いますが、新たな課題や当初取組事項に載せきれなかったものに対する、現状認識と改革方針を対象に入れる余地があってもよいと思います。ただし、新たな課題であっても、それを話し合うときに、行財政改革プランの視点から外れてしまうものではないかと思っています。</p>
<p>世羅委員 (委員長職務 代理者)</p>	<p>「3. 評価・検証する対象の選定方法」では、公開ヒアリングで取り上げる取組を行政側で決定する案1と、専門委員会で決定する案2がありますが、この点について、委員の意見を伺いたいと思います。</p>
<p>諏訪委員</p>	<p>透明性を求められる時代背景を考えると、決定はあくまで第三者である専門委員会がすべきだと思います。そこで提案なのですが、行政側で案をお示しいただき、専門委員会で議論し、決定するという形がよいのではないかと思います。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>私も諏訪委員と同様に、市民の視点で考えた場合、第三者が選定する方がよいと思います。また行政側にとっても何が選ばれるかわからないことから緊張感が生まれ、よい刺激になると思います。</p>
<p>世羅委員</p>	<p>私もお二人の委員と同意見です。補足として、書類評価を経て公開ヒアリングで取り上げられる取組を決定する際の基準や理由がしっかりと説明できるものでないといけないと思いますので、この点について留意していただきたいのと、決定にあたっては行政側の意見を伺った上で、専門委員会で決定するという形にしていきたいと思います。</p>
<p>世羅委員 (委員長職務 代理者)</p>	<p>資料1の「4. 評価・検証の体制」では我々専門委員に加え、市内の専門家を加えた案になっておりますが、この点について、専門委員の意見を伺いたいと思います。</p>
<p>諏訪委員</p>	<p>案のとおりでよいと思います。一つ質問ですが、公開ヒアリングの時間は全体でどのくらいを想定していますか。</p>
<p>事務局 (行政課長)</p>	<p>1つの取組を1時間、それを1班5つ実施し、全体として5時間を想定しています。</p>

発言者	要 旨
世羅委員	公開ヒアリングの中で行財政改革プランの158の全取組を5年かけて取り上げるという考えはありますか。
事務局 (行政課長)	そういった考えはありません。158の取組のうち、市民生活に影響するものについて取り上げていきたいと考えています。
世羅委員 (委員長職務 代理者)	<p>それでは時間も迫って参りましたので、委員会の意見をまとめたいと思います。</p> <p>内部評価の評価・検証の方法は案2のプラン専用のシートを作成し、進捗管理をする方法が適当であると判断します。</p> <p>外部視点による評価・検証の対象については案1のプランの取組事項を対象とする方が適当と判断します。ただし、幅広く政策の観点からも議論できる方が好ましいことから、状況によっては行財政改革プランの取組事項に限定せずにテーマを設定する方法もよいと考えます。</p> <p>外部視点から評価・検証する対象の選定方法については、基本的には案2のとおり専門委員会が決定しますが、行政側で選定したものを案としてお示しいただきたいと思います。</p> <p>次に、専門委員会から事務局へのお願事項をまとめたいと思います。</p> <p>行政評価の細事業と行財政改革プランの取組事項について、どの程度関連付けられるのか、検証をお願いします。</p> <p>併せて、内部評価のプラン専用シートへ、細事業との関連がわかるような欄を追加できるかについて検討をお願いします。</p> <p>外部視点による評価・検証の対象について、市としての考えをまとめ、報告していただきたいと思います。</p> <p>外部視点から評価・検証する対象の選定方法について、書類評価を実施した場合の、具体的な選定方法について、本日お示しいただいた基準をさらに推敲していただき、次回お示しいただきたいと思います。</p>
世羅委員 (委員長職務 代理者)	それではこれで本日の専門委員会を終了いたします。 ありがとうございました。